【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公表番号】特表2013-530081(P2013-530081A)
【公表日】平成25年7月25日(2013.7.25)
【年通号数】公開・登録公報2013-040
【出願番号】特願2013-515510(P2013-515510)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｃ　29/02　　(2006.01)
Ｂ６０Ｃ　29/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｃ　29/02
Ｂ６０Ｃ　29/04

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月13日(2014.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
タイヤからホイールのリムを貫通して延びたバルブステム用のキャップであって、
ハウジングであって、該ハウジングは、軸線に沿って第１の端部から第２の端部まで延びており、前記軸線に沿って前記第１の端部から前記第２の端部に向かって延びたボアと、前記バルブステムを収容するための前記ボアの周囲に周方向に延びたカップ状の壁部とを有する、ハウジングと、
前記バルブステムに螺合するための、前記ボアに配置されたねじ山付面と、
フランジであって、前記ホイールの前記リムに当接して前記ハウジングを前記ホイールの前記リムに対して安定させるために、前記第１の端部から、前記軸線に対して横方向に、前記ボアの周囲に周方向に延びている、フランジと、
リブであって、前記ハウジングの周囲に放射状に間隔を置いて配置され、前記ハウジングの前記壁部から外方へ前記フランジまで延び、前記ハウジングを前記フランジに対して強化する、リブ、とを備えることを特徴とする、タイヤからホイールのリムを貫通して延びたバルブステム用のキャップ。
【請求項２】
前記ハウジングは、前記第１の端部から前記第２の端部までの高さを形成しており、前記フランジは、前記高さよりも大きな外径を有する、請求項１記載のキャップ。
【請求項３】
前記リブの各々は、概して三角形を形成する３つの側部を有し、第１の側部は、前記フランジと一体でありかつ前記フランジに沿って前記軸線に対して外方へ延びており、第２の側部は、前記壁部と一体でありかつ前記壁部に沿って概して前記軸線に沿って延びており、第３の側部は、前記第１の側部から前記第２の側部まで延びている、請求項１又は２記載のキャップ。
【請求項４】
前記ハウジングと、前記フランジと、前記リブとは、ガラス繊維入りナイロンから一体に形成されている、請求項１から３までのいずれか１項記載のキャップ。
【請求項５】

さらに、圧力計であって、前記バルブステムに係合するために前記ボア内へ延びており、かつタイヤの膨張圧力を示すために前記ハウジングから外方に面したインジケータを有する、圧力計を備える、請求項１から４までのいずれか１項記載のキャップ。

【請求項６】

車両用のホイールであって、

リムと、

該リムの周囲に配置されたタイヤと、

該タイヤから前記リムを貫通して延びたバルブステムと、

キャップであって、ハウジングを有し、該ハウジングは、軸線に沿って第１の端部から第２の端部まで延びかつ前記軸線に沿って前記第１の端部から前記第２の端部に向かって延びたボアと、前記バルブステムを収容する前記ボアの周囲に周方向に延びたカップ状の壁部とを有する、キャップと、を備え、

前記キャップは、前記バルブステムに螺合する、前記ボアに配置されたねじ山付面を有し、

前記キャップは、フランジであって、前記第１の端部から前記軸線に対して横方向にかつ前記ボアの周囲に周方向に延び、かつ前記リムに対して前記ハウジングを安定させるために前記ホイールの前記リムに当接するフランジを有し、

前記キャップは、リブであって、前記ハウジングの周囲に放射状に間隔を置いて配置され、前記ハウジングの前記壁部から前記フランジまで外方へ延び、前記フランジに対して前記ハウジングを強化するリブを有することを特徴とする、車両用のホイール。

【請求項７】

前記ハウジングは、前記第１の端部から前記第２の端部までの高さを形成しており、前記フランジは、前記高さよりも大きな外径を有する、請求項６記載のホイール。

【請求項８】

前記リブの各々は、概して三角形を形成する３つの側部を有し、第１の側部は、前記フランジと一体でありかつ前記フランジに沿って前記軸線に対して外方へ延びており、第２の側部は、前記壁部と一体でありかつ前記壁部に沿って概して前記軸線に沿って延びており、第３の側部は、前記第１の側部から前記第２の側部まで延びている、請求項６又は７記載のホイール。